

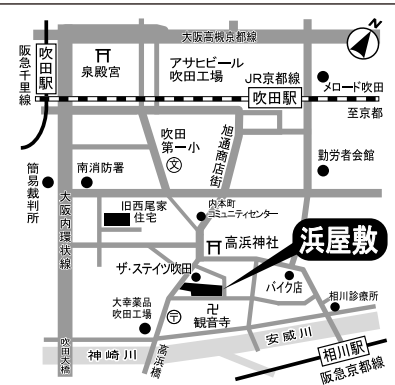


浜屋敷フォトアワード2018大賞作品「梅と太陽の塔」

特定非営利活動法人
 吹田歴史文化まちづくり協会

〒564-0025
 大阪府吹田市南高浜町 6-21
 (6-21 Minami Takahamacho, Suita City, Osaka)
 TEL : 06-4860-9731 / FAX : 06-4860-9725
 Mail : info@hamayashiki.com
 URL : <http://hamayashiki.com/>

発行: 令和元年5月22日 発行人: 馬場 龍



特定非営利活動法人
 吹田歴史文化まちづくり協会

平成30年度 年次報告書

2018.4 - 2019.3
 Annual Report

平成30年度 年次報告書 目次

ごあいさつ	1
5か年計画の進捗状況	
施設の管理運営事業報告	2・3
各種運営会議	
貸館事業	
観覧事業	
実施イベント報告	4・5
地域交流事業	
芸能・芸術鑑賞・演奏会事業	
学習・教養講座事業	
まちづくり調査研究事業	
15周年記念事業	6
吹田まち案内人事業	7
ボランティア活動報告	8・9
活動するボランティア紹介	
加賀眞砂子文庫	9
広報活動	10
主な広報活動	
会計報告	11
活動計算書	
貸借対照表	
団体情報	12
沿革	
組織	
協賛法人・団体のご紹介	13
ご支援のお願い	



ごあいさつ

いつも浜屋敷へのご理解とご声援いただき誠にありがとうございます。おかげをもちまして、昨年は浜屋敷開館 15 周年を成功裏に終えることができましたこと、厚くお礼申し上げます。

記念式典や記念事業では各方面からたくさんの方々にお越しいただき、温かい励ましのお言葉も頂戴いたしました。運営するわれわれといたしましても大変勇気づけられた次第です。次年度はいただいたお言葉を礎に浜屋敷運営により一層の磨きをかけていく所存です。

また昨年は、地震、台風、大雨と例年になく災害に見舞われた年でした。日本各地で家屋損壊や人的被害が出ましたこと、心が痛む限りですが、伝統的日本人家屋の浜屋敷も構造上、屋根瓦、白壁、塀などこれらの災害と無縁というわけにはいきませんでした。美しい佇まいに傷がつくことは、この浜屋敷を愛してくださっている皆様にとりましても心苦しい思いをされたこととお察しいたします。しかしながら、吹田市をはじめ多くの方々の努力とご協力によって、情緒あふれる浜屋敷は徐々にではありますが元の姿に戻りつつあります。

様々なことがあり目まぐるしい一年ではありましたが、浜屋敷の存在意義を改めて感じ、今後の運営にも一層の努力をしていきたいと考えております。



理事長 馬場 龍

5 か年計画の進捗状況

吹田歴史文化まちづくり協会の活動方針は 5 か年計画として 4 つの重点課題を採択し、その実現に向けて計画的に取り組んでまいりました。そこで、各分野での進捗状況をお示しし、現状の報告とさせていただきます。

1. 会員の拡大

会員拡大は正会員・賛助会員・法人会員ともに大幅に拡大するまでには至っておりません。そのため、具体的に会員拡大について方針を決定し、施設利用団体、だんじり関係自治会、イベント参加団体等に積極的に働きかけるとともに、正会員や法人会員の特典の見直しにも検討を加え、会員拡大に努力してまいります。

2. バリアフリー化の推進

心のバリアフリー、情報のバリアフリー、物理的バリアフリーについて検討を重ね、『おもてなしの浜屋敷』を基本にして、みんなに優しいガイドラインを作成しました。また、ガイドラインに沿った施設内でのバリアフリーについての研修も実施し、バリアフリーの推進に努力しています。

3. 5年後の目標策定

事業運営の基礎となる定款・就業規則・規約・内規等を、実務業務に合致したものにすべく検討を加えています。また、評議員の人選については幅広い範囲から選考し、吹田歴史文化まちづくり協会の管理運営、事業実施状況、イベント内容等について評価をいただいて改善に役立てています。

4. ECOへの取り組み

協会施設の LED 化に取り組むことで電気料金の減額を達成することができ、貸館事業、観覧事業、協会事業、業務内容等についても積極的に効率化を図る取り組みを継続しています。また、ペーパーレス化をより一層推進し、会議も効率的に進行できるようになってきました。

上記の内容について、まだまだ不十分な点はございますが、5か年計画の残された年月で目標が達成できるように、理事・スタッフ・ボランティアともに全力で当たってまいりますので、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



副理事長 藤本 衛

施設の管理運営事業報告

各種運営会議

様々な活動を運営実行するため、各種会議を開催しました。

- 総 会

○理 事 会

○総 務 会

○ボランティアリーダー会議
- (年12回開催)

(年12回開催)

(年6回開催)
- 吹田市運営協議会

○評 議 員 会

○事 業 会 議
- (年2回開催)

(年2回開催)

(年12回開催)



総 会



評 議 員 会



芝の張替え



蜂の巣 駆除

地震・台風被害の補修工事

平成30年度は6月18日の北部地震に始まり、7月・9月には関西地方に大型台風が上陸するなど、災害の多い年でした。吹田市の各公共施設でも多大な被害が発生しました。浜屋敷では、ブロック塀の破損、蔵棟における漆喰の剥落、事務所棟の屋根瓦の破損などの被害がありましたが、比較的軽微であり、休むことなく開館することができました。また吹田市の被害箇所の補修対策も早く、本年3月には完全に復旧いたしました。



西 門



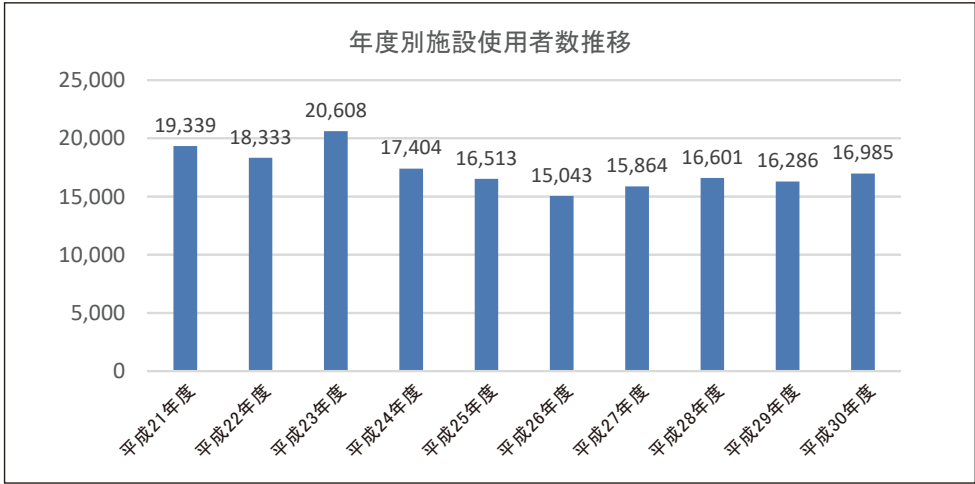
蔵棟 漆喰壁



事務所棟 屋根瓦

貸 館 事 業

コワーキングスペースとして、勉強場所として、手芸等のものづくりをされる方など、少人数での活用が増えてきています。また、講演会などの会場としての利用も多くなり、プロジェクターやスクリーン、マイクなどの貸出が増えていきます。

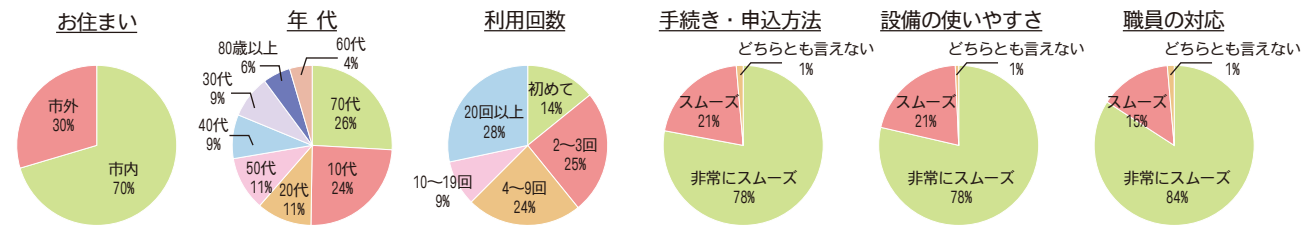


平成30年度使用者数（人）

4 月	1,480
5 月	2,247
6 月	970
7 月	1,081
8 月	843
9 月	922
10 月	3,146
11 月	1,468
12 月	1,215
1 月	777
2 月	1,295
3 月	1,541
計	16,985

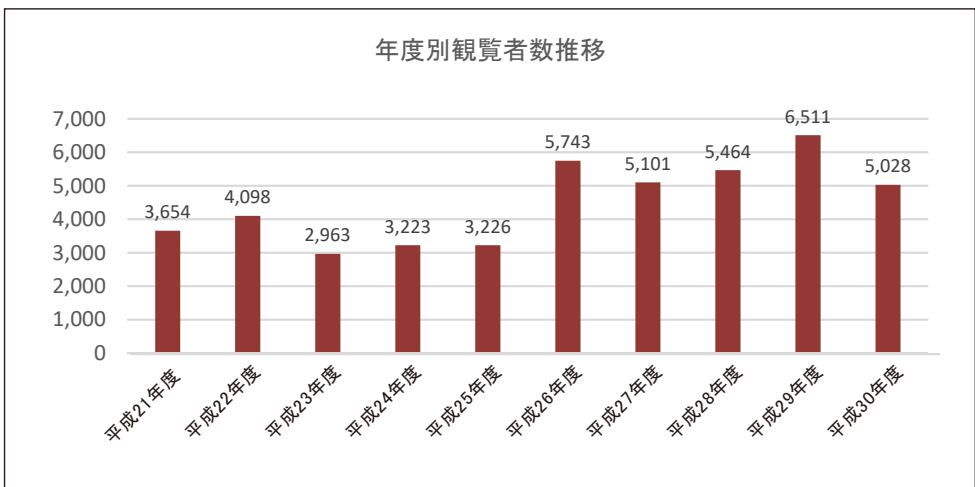
施設利用アンケート

アンケート実施時期(平成30年4月～平成31年3月)



観 覧 事 業

平成 30 年度館内ガイドの申し込みは 45 件ありました。土間ではまちの駅ボランティアが、目的に応じて対応しています。口コミ、地域誌、新聞などの掲載、また喫茶ボランティアの活動との相乗効果がいまって、土間に滞留する人が増えています。また外部との交流も多くなり、人のぬくもりを感じられる場所になっています。土間が人々の拠り所になるようがんばっています。



平成30年度観覧者数（人）

4 月	398
5 月	588
6 月	815
7 月	517
8 月	498
9 月	478
10 月	384
11 月	222
12 月	184
1 月	258
2 月	387
3 月	299
計	5,028

実施イベント報告

今年度は15周年記念事業として春に新能を、また秋にコンサートと落語を例年よりバージョンアップさせた形で行いました。皆様に楽しんでいただける事業を企画実施すること、皆様の夢の実現を応援する事業を実施すること、どちらも大切にしていきます。

地域交流事業

(タイトル)	(実施)	(参加者)
さくらまつり	4月	497名
端午の節句	5月	54名
浜屋敷手づくり市	5月	1,291名
七夕笹飾り	7月	62名
夏のつどい「プラネタリウムがやってくる!」	8月	84名
第3回ジャンボ将棋まつり	10月	83名
旧暦 重陽の節句	10月	55名
伝統工芸&手づくり市	10月	1,844名
市民企画参加 「土間に響くオカリナオーケストラ」	11月	136名
地球村ぶらす	12月	19名
もちつき	12月	325名
すすはらい	12月	30名
浜屋敷ライトアップ	12月	58名
正月飾り	1月	—
七草粥のふるまい	1月	175名
新春かるたあそび	1月	21名
ひなまつり	3月	90名
ぽかぽかひろば	年5回	計317名
ボランティア研修会	年2回	計81名
ジャンボ将棋子ども将棋教室	全8回	計174名

芸能・芸術鑑賞・演奏会事業

(タイトル)	(実施)	(参加者)
墨絵ワークショップ展示	4月	680名
15周年記念事業 ポスター展	5月	168名
15周年記念事業 浜屋敷新能	6月	93名
15周年記念事業 歴文寄席 桂小留をチョコッと鍛える会	11月	63名
15周年記念事業 魅惑の弦楽四重奏	11月	70名
15周年記念事業 里帰り名品展	11月	180名
新春に古典藝能を愉しむ一日	1月	67名
浜屋敷フォトアワード2018展示	2月	399名
クラシックCDコンサート	年3回	計36名



さくらまつり



端午の節句



七夕笹飾り



平和学習 戦火を見つめた俳人たち



市民企画参加 土間に響くオカリナオーケストラ

学習・教養講座事業

(タイトル)	(実施)	(参加者)
民博夜話 万博から民博へ	4月	19名
15周年記念講座 日本の色	7月	41名
五・七・五であそぼう	7月・10月	計109名
平和学習 戦火を見つめた俳人たち	8月	29名
民博夜話 工芸継承展から考える 日本インダストリアルデザイン	9月	15名
宇多喜代子さんと過ごす初めての句会	11月	14名
民博夜話スペシャル 元号と紀年法	12月	18名
昔の炊飯体験	1~3月	122名
すいた昔さろん	年11回	計253名
博物館出前講座	年4回	計40名

まちづくり調査研究事業

(タイトル)	(実施)	(参加者)
大学連携 人と人をつなぐお茶	4月	19名
避難所運営バーチャル体験	2月	18名
大学連携 日本の建具と畳の張替え体験	3月	25名

参加者アンケートの実施

旧暦 重陽の節句

	a. イベント内容	b. 実施時間	c. スタッフ対応	d. 会場配置等
1. 大変良かった	34	19	24	18
2. 良かった	6	19	17	16
3. 普通	1	1	0	6
4. 悪かった	0	1	0	1
5. 非常に悪かった	0	0	0	0
未記入	3	4	3	3

・浜屋敷主催らしく、いい雰囲気でした。

・重陽の節句のお祝いは初めてでしたので、とても感動しました。
朗読・尺八もとてもステキでした。ありがとうございました。

新春に古典藝能を愉しむ一日

	a. イベント内容	b. 実施時間	c. スタッフ対応	d. 会場配置等
1. 大変良かった	39	26	28	17
2. 良かった	10	24	17	21
3. 普通	2	1	5	9
4. 悪かった	0	0	0	2
5. 非常に悪かった	0	0	0	0
未記入	1	1	2	3

・チェロとフルートの演奏素晴らしかったです。狂言は大いに笑いました。
身近に小舞や狂言が観れて、また、お正月気分を味わいました。

・狂言とフルートの組み合わせ、よく考えられました。
「狂言」をこの年になって恥ずかしいけど初めて拝見しました。



浜屋敷フォトアワード2018



クラシックCDコンサート



七草粥のふるまい



すいた昔さろん-番外編-



浜屋敷ライトアップ

15 周年記念事業

開館15周年記念事業を計画するにあたり、「式典」「イベント」「記念誌」「広報」の4部門に全理事を割り振って検討しました。「式典」では記念植樹も合わせて厳粛に実施できました。「イベント」ではメイン事業として薪能を計画、冠を付けた事業として「ポスター展」「記念講座 日本の色」「里帰り名品展」「歴文寄席」「魅惑の弦楽四重奏」を実施し、好評を得ました。「記念誌」は14ページのカラー版で見やすいものに出来上がりました。「広報」では記念ロゴを作成し、機関誌やチラシで使用しました。

記念事業に取り組んで、この浜屋敷が多くの方の支えによって運営できていることを改めて感じました。今後も市民の皆様のご期待にそうべく、一層の努力をしていきたいと思ひます。

実行委員長 藤本 衛

15周年記念イベント

浜屋敷 ポスター展	5月21日(月)～5月27日(日)	記念講座「日本の色」	7月8日(日)
15周年記念式典	6月9日(土)	浜屋敷 里帰り名品展	11月18日(日)～11月25日(日)
浜屋敷 薪能	6月10日(日)	歴文寄席	11月24日(土)
		魅惑の弦楽四重奏	11月25日(日)



15周年記念式典



記念植樹



吹田歴史文化まちづくりセンター



浜屋敷 薪能



浜屋敷ポスター展



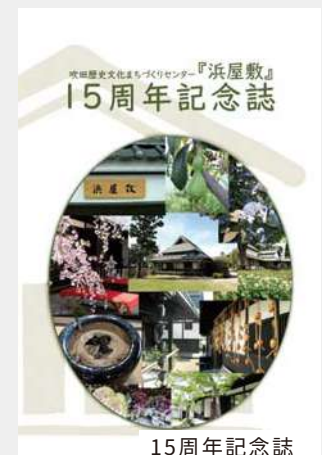
記念講座「日本の色」



里帰り名品展



15周年ポスター



15周年記念誌



魅惑の弦楽四重奏



歴文寄席

吹田まち案内人事業

近年、吹田市の北部では、万博記念公園をはじめ、ガンバ大阪の本拠地やエキスポシティなど、数万人単位の観光客を集める施設があり、それらは吹田市の大きな観光資源になっています。

しかし、吹田まち案内人はそれだけでなく、多くの人々に歴史ある街並みや商店街、歴史街道を案内しており「楽しいまち」「住みやすいまち」である吹田をさらに、好きになっていただくことで「終の棲家は吹田に決めた」と言っていただけるよう、魅力あるまちを紹介しています。私たちは、こういった吹田まち案内人活動や吹田市観光講座の開講が、まちづくり活動の活性に繋がるものと確信しています。

平成30年度は、ガイド依頼を漫然と待つのではなく、魅力ある「自主企画」を計画すると同時に各地区公民館をはじめ、各種団体に吹田のまちを散策することを積極的に呼びかけました。



吹田まち案内人 主な活動

- ①まち案内人活動
 - ・自主企画 16件 463名参加
 - ・団体依頼 34件 484名参加
- ②吹田市観光講座
 - ・期間：平成30年6月3日(日)～8月5日(日)
 - ・場所：千里ニュータウンプラザ(ラコルタ)
 - ・内容：座学5回
 - ・参加：延べ251名受講
- ③ボランティアフェスティバル出展
 - ・日時：平成30年5月27日(日)
 - ・場所：吹田市役所前駐車場
 - ・内容：まち歩き案内及び相談窓口の開設
吹田市観光マップ配布、ポスター、チラシの展示
- ④大学ゼミ支援
 - ・関西大学「吹田の“まち”と“ひと”の魅力」報告会
 - ・阪南大学「吹田のフットパス」について報告会(2回)
- ⑤「吹田まち案内人」研修会
 - ・実施日：平成31年3月15日(金)
 - ・行き先：茨木市
 - ・内 容：西国街道視察
- ⑥イラストマップの作成
 - ・作成地区：南千里地区



まち案内人集合写真



まち案内人活動



吹田市観光講座

ボランティア活動報告

まちの駅ボランティア



喫茶ボランティア



ぽかぽかボランティア



 ボランティア

みんなでアイデアや時間を持ち寄って浜屋敷を
いきいきとした歴史・文化のまちづくりの拠点にしませんか？
得意な分野、関心のある分野でボランティアとして
わいわい楽しく活動しましょう！

吹田まち案内人



日本庭園ボランティア



撮影ボランティア



グリーンボランティア



メールボランティア



清掃ボランティア



助っ人ボランティア



活動するボランティア紹介

浜屋敷では10のボランティアグループが、それぞれの特技・特性を生かしながら浜屋敷の活動をサポートしています。
(平成31年3月現在)

グループ名	活動内容	活動人数
喫茶	午前10時～午後4時まで開店（不定期）	8
グリーン	浜屋敷内の草木の手入れなど、植栽、苗育成	9
撮影	浜屋敷発ニュース番組「浜屋敷通信」を制作	4
吹田まち案内人	まち歩き案内を引き受けるボランティアガイド組織	27
助っ人	協会からの協力依頼事業、及び施設の維持管理の手伝い	19
清掃	毎朝30分、浜屋敷周辺や隣接公園、敷地内の清掃や草取り	9
日本庭園	庭園の整備や育成	4
ぽかぽかひろば	幼児、児童を対象としたイベント「ぽかぽかひろば」を年5回企画、実施	5
まちの駅	浜屋敷の館内案内など	15
メール	浜屋敷の広報誌「吹田ノ渡シ」の配達	4

清掃ボランティア

朝の8時30分から9時まで、清掃や草取りをしています。周辺道路や隣接公園の清掃を主に活動しています。
浜屋敷敷地内の通路やお庭の清掃もあわせて行っており、来館される皆さんに、気持ちよく利用していただけるよう、尽力しています。

ぽかぽかひろばボランティア

幼児、児童を対象としたイベント「ぽかぽかひろば」を開催しています。暑い夏に行う水遊びやひなまつりの工作など、親子で季節を感じられる企画を実施しています。
また、近隣大学の学生ボランティアの方にも協力していただき、楽しく活動しています。



喫茶ボランティア



グリーンボランティア



日本庭園ボランティア



メールボランティア

加賀眞砂子文庫

加賀眞砂子文庫は平成22年(2010年)に開館し、その記念として郷土史論文の募集・表彰を行いました。
文庫では、主に蔵書・ファイル・地図など、吹田が景勝地・水陸交通の要衝であった事を示す郷土史資料を集めています。
さらに、古老から取材したテープ起こし作業や古地図の整理、全図書の索引、また浜屋敷ギャラリー兼音楽室を使った特別展示を行ってきました。私達の郷土吹田の歴史と発展を再確認していただく為にも、ぜひお越しください。



開館当日の加賀先生



当初の文庫の様子



特別展示で解説する加賀先生と市長

文庫は浜屋敷[多目的室]で8月と12月を除く、第2・第4土曜日午後1時30分～4時30分に開館しています。

広報活動報告



主な広報活動

センターニュース「吹田ノ渡シ」の発行（年6回）

公的施設の他、近隣自治会など各号4200部を配布しました。また、視覚障害の方向けに点訳版も発行しています

Web への取り組み

ホームページ、ウェブログの他、facebook、TwitterなどSNSの運用を行っています。

記事掲載

- 浜屋敷 手づくり市 (朝日ファミリー/ザ・ポールスター)
- 浜屋敷 薪能 (シティライフ北摂版)
- 五七五であそぼう (サンケイリビング新聞北摂版)
- ぽかぽかひろば (サンケイリビング新聞北摂版/シティライフ北摂版)
- 戦火を見つめた俳人たち (ザ・ポールスター)
- ジャンボ将棋まつり (産経新聞/サンケイリビング新聞北摂版)
- クラシックCDコンサート (シティライフ北摂版)
- フォトアワード2018 (フォトコンライフ)
- 魅惑の弦楽四重奏 (ザ・ポールスター)
- 七草粥のふるまい (読売新聞)
- 新春に古典藝能を愉しむ一日 (ザ・ポールスター/シティライフ北摂版)
- 避難所運営バーチャル体験 (朝日新聞)
- 施設の紹介 (阪急日和)

その他、多くの地域(Web)メディア様に多数の記事を掲載していただいています。
(号外ネット吹田/すいたす/吹田日和 など)

テレビ番組

- 「デイリーニュース〜北摂〜」 (J:COM)
- 「お元気ですか!市民のみなさん」 (J:COM)

ラジオ番組

- 「デポルトナビゲーション」 (FM千里)
- 「馬場章夫のぼろぼろ千里」 (FM千里)

その他

- ・すいたんTwitter/facebook (吹田市)
- ・季節の花だより発行 (不定期)
- ・浜屋敷通信 配信 (不定期)
- ・むかしの生活体験のしおり発行 (3月)

会計報告

活動計算書

平成 30 年度の経常収益は 31,694 千円となりました。内訳は受取会費 607 千円、受取寄付等 1,000 千円、受取助成金等 3,537 千円、事業収益 26,325 千円、その他収益 225 千円です。経常経費は 30,024 千円となりました。内訳は事業費 24,099 千円（人件費 11,818 千円、その他経費 12,281 千円）、管理費 5,925 千円（人件費 4,966 千円、その他経費 959 千円）です。

貸借対照表

貸借対照表の資産の部合計は 8,428 千円であり、その内訳は現金預金 8,204 千円、棚卸資産 89 千円、その他の流動資産 135 千円です。

負債の部合計は 3,509 千円であり、その内訳は預り金 192 千円、未払費用 2,932 千円、前受金 385 千円です。

正味財産の部合計は 4,919 千円であり、前期繰越正味財産 3,249 千円、当期正味財産増減額 1,670 千円です。その結果、負債及び正味財産合計は 8,428 千円となっております。

平成30年度 活動計算書(要約)			
収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(経常収益)		(経常費用)	
受取会費	607	事業費(人件費)	11,818
受取寄付金	1,000	事業費(その他経費)	12,281
受取助成金等	3,537	管理費(人件費)	4,966
事業収益	26,325	管理費(その他経費)	959
その他収益	225		
経常収益合計(A)	31,694	経常費用合計(B)	30,024
		当期正味財産増減額(A)－(B)	1,670
合 計	31,694	合 計	31,694

団体情報

沿革

- 平成 12 年 8 月 南高浜歴史民家再生・活用研究会発足
- 平成 13 年 6 月 南高浜歴史民家運営組織準備委員会設置・発足
- 平成 15 年 2 月 吹田歴史文化まちづくり協会 設立
- 平成 15 年 6 月 吹田歴史文化まちづくりセンター開館
- 平成 16 年 6 月 センターの愛称が「浜屋敷」に決定
- 平成 19 年 2 月 特定非営利活動法人 吹田歴史文化まちづくり協会となり現在に至る。
- 平成 25 年 6 月 協会設立 10 周年及びセンター開設 10 周年記念式典実施
- 平成 30 年 6 月 協会設立 15 周年及びセンター開設 15 周年記念式典実施

受賞歴

- 平成 17 年度 (社)日本都市計画学会関西支部 関西まちづくり賞
- 平成 19 年度 吹田市 文化のまちづくり推進者表彰
- 平成 21 年度 吹田市 第 3 回いいでしょこのまち賞はぐくみ部門
- 平成 22 年度 国土交通省 手づくり郷土賞
- 平成 22 年度 国土交通省近畿地方整備局 第 3 回ゆめづくりまちづくり賞 優秀賞

組織

役員名簿

(平成31年3月現在)

理事長	馬場 龍	建築事務所GA-PLAN 代表
副理事長	藤本 衛	神境町自治会 会長
	瓢風 正男	吹田まち案内人
	平山 浩美	ヒッポファミリークラブ吹田 代表
理 事	井上 一光	会社顧問
	内山 正之	(株)西日本出版社 代表取締役
	小田 信子	NPOすいた環境会議 理事
	金村 優子	アルメナックス 代表
	阪本 常夫	南町自治会 会長
	長井 敬二	吹田RPの会 代表 吹田市バリアフリー市民会議 委員
	長岡 弘隆	長岡建築研究所 所長
	橋本 潤一	吹三地区体育振興会 理事
	八田 恭仁子	南町自治会 役員
	林 修二	リンクリング 代表
	福澤 靖治	まちの駅『浜屋敷』 駅長
	松川 芳隆	税理士
	南 知香子	企業組合もえぎ設計
監 事	山崎 重博	社会保険労務士
	渡部 みさ子	吹田児童文化団体協議会 事務局長
	那須 良太	弁護士
特別顧問	中牧 弘允	吹田市立博物館 館長
	柴田 仁	大幸薬品(株) 代表取締役会長

平成30年度

協賛法人・団体のご紹介

当協会は吹田市より委託を受け、吹田歴史文化まちづくりセンター（通称 浜屋敷）を管理運営しています。歴史ある民家の特性を活かし、地域に息づく歴史・文化を継承するとともに、吹田市の文化活動の振興と交流の場となって地域の発展に資することを目指し、活動しています。そのためには各企業様のご支援ご協力が欠かせません。

平成30年度協賛法人・団体

(50 音順)

アサヒビール株式会社 吹田工場	アーキヤマデ株式会社	井 村 楽 器
株式会社 生島商店	株式会社 川崎ユニフォーム	株式会社 空間デザイン
株式会社 三野商店	株式会社 寺前造園	株式会社 nanairo
北おおさか信用金庫 吹田支店	公益社団法人 吹田納税協会	向洋電機 株式会社
吹田エリア郵便局 吹田部会	吹田郷土史研究会	吹田市開発ビル 株式会社
吹田商工会議所	マロニー 株式会社	南町自治会
有限会社 シロ電気	有限会社 ナセバーナル	有限会社 ヨシミ電子機器

ご支援のお願い

会員募集

歴史と文化のまちづくりに取り組む特定非営利活動法人 吹田歴史文化まちづくり協会の活動に賛同し、協力・支援していただける会員を募集しています。平成 30 年度は個人正会員 103 名 個人賛助会員 99 名 法人賛助会員 20 社の皆様にご支援いただきました。

- 年会費
個人正会員 3,000 円
個人賛助会員（一口） 1,000 円
法人賛助会員（一口） 10,000 円
- お申込み
入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局で年会費をお支払いいただくか、郵便振替をご利用下さい。郵送・FAX も可。（入会申込書は協会ホームページからもダウンロードできます。）

会費振込み先

【ゆうちょ振替口座番号】 00940-5-188860

【口座名義】 特非) 吹田歴史文化まちづくり協会

活動支援寄付

歴史と文化のまちづくりに取り組む、特定非営利活動法人吹田歴史文化まちづくり協会の活動推進のために皆様のご支援をお願いいたします。

【金融機関名】 三井住友銀行
【口 座】 普通 【口座番号】 3850640
【口 座 名 義】 特非) 吹田歴史文化まちづくり協会 理事長 馬場 龍

民俗資料寄贈

当協会は、地域の民俗資料の収集を行っています。寄贈いただける民俗資料がございましたら、事務局までご連絡下さい。

ボランティア大募集

当協会のサポーター（ボランティア）になり、様々な活動に協力していただける皆様に募集しています。希望される方は事務局までご連絡下さい。平成 30 年度は 80 名以上の皆様からのボランティア登録があり、活動協力していただきました。